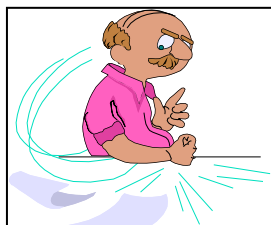


サーキュラーエコノミーへの取り組み！

最近、国をまたぎあらゆる分野の企業が手を組み、活動や研究を進めているものに「サーキュラーエコノミー (Circular Economy)」＝「循環型経済」への取り組みがあります。以下「CE」と略しますが、これまで廃棄されていた製品や原材料などを「資源」と考え、リサイクル・再利用などで活用し、資源を循環させる、新しい経済システムです。

あれ？ これまでも3Rへの取り組みがあったのでは？



3Rでは廃棄物をできるだけ出さないようにするという考え方で、最後には少なからず廃棄物ができることが前提となっています。

CEでは、「そもそも廃棄物と汚染を発生させない」という考え方が軸になっています。

ではCEの循環システムってどうなってるの？＝消費された製品を資源として

「資源の抽出→製造→消費→リサイクル・再利用(＝資源の抽出)→製造」となります。

CEに対して従来の経済システムのことを、リニアエコノミー (Linear Economy) 「直線型経済」と言い、「資源の抽出→製造→消費→廃棄」の一方向のみの流れで大量の廃棄物を生み出します。

少し難しくなってきましたが、CEの3原則を読むとわかりやすいかと思います。

1. 廃棄物と汚染を生み出さないデザイン (設計) を行う
2. 製品と原料を使い続ける
3. 自然システムを再生する

(by エレン・マッカーサー財団)

インターネットで検索すると企業が取り組んでいる「CE事例」がたくさん見つかります。

【Loopプロジェクト】

世界20か国以上でリサイクル事業を手がけるアメリカのテラサイクル社が2019年からスタートさせたプロジェクトで、パッケージ (容器) を企業の財産と考え循環させ、プラスチックごみを大幅に削減します。日本では2021年3月から日本版「Loop」が始動しています。

参加企業：アース製薬、味の素、江崎グリコ、エステー、大塚製薬、キッコーマン 他

【プラスチックバンク】

街に落ちている廃棄プラスチックを集めて、収集センターに持っていくと仮想通貨に交換してくれるサービスで、廃棄プラスチックの収集は誰でもでき、手に入れた仮想通貨を使い食料・水・日用品と交換できます。海に流出したプラスチックの除去・掃除をいくら頑張っても、海にプラスチックを流出させる蛇口を閉めないかぎり、根本的な解決につながらないという発想から始まった企業戦略です。

わが社は規模が小さいし、いろいろできないしと思った方!!!

今実行している活動が、実はCEに繋がっているかもしれません。

探してみれば、売り上げにつながる活動が見つかるかもしれません。

今実行できることがなくても、世の中の動向をキャッチし理解することで、将来ヒントになることがあるかもしれません。 参考に見てみてください。

